

ウルトララグジュアリー シルバーシー・クルーズが約3年ぶりに日本でのクルーズを再開

シルバー・ミュージックが2023年3月15日より大阪発着のクルーズへ出発

(大阪 日本 - 2023年3月15日) ウルトララグジュアリークルーズとエクスペディション・クルーズをリードするシルバーシー・クルーズは、約3年ぶりに日本でのクルーズを再開し、シルバー・ミュージックがシンガポールから大阪までの14日間のクルーズにて鹿児島に到着しました。

シルバー・ミュージックは、3月15日から大阪発着14日間のクルーズを開始します。

「3年ぶりに日本へ戻ることができ、大変うれしく思っています。日本は最も需要の高いデスティネーションのひとつであり、気持ちが高まっています。シルバーシーは3月から5月に桜の季節を満喫し、その後9月から10月にかけて秋の紅葉の季節に日本でのクルーズを予定しています。また、鹿児島と大阪の両港では、民謡イベントや棧橋でのセレモニーが行われ、スタッフに歓迎の品が贈られるなど、日本の自治体や港湾局、地元の方々から待望の帰還を祝福され、とても感激しています。とシルバーシー・マネージング・ディレクターのアダム・ラドワンスキーは述べています。

大阪発着のクルーズでは、鹿児島の桜並木や日本の未開の地を訪れます。

金沢に寄港し、芸者茶屋や武家屋敷で地元の文化を学ぶ機会もあります。また、日本酒の産地である新潟にも寄港し、3月23日には秋田に到着し、ちょうど見ごろとなる桜をご覧いただくことができます。

さらに、青森の三内丸山遺跡では、古代の遺跡を見学します。その後、北海道と経て、洋上でリラックスした時間をお過ごしいただけます。そして、14日間のクルーズを終え、大阪へと戻ります。

このクルーズについての詳細はこちらから

<https://www.silversea.com/destinations/asia-cruise/osaka-to-osaka-sm230315014.html>

シルバー・ミュージック

乗客定員数 596名のシルバー・ミュージックは、シルバー・スピリットを進化させ、ウルトララグジュアリーな船旅を再定義し、シルバーシーの特徴である小型船ならではの親密さと全スイートの広々とした客室をさらに充実させました。シルバー・ミュージックは、船内体験の充実を図り、ウルトララグジュアリークルーズ市場の水準を大幅に引き上げるとともに、世界で最も目の利く旅行者の快適さ、サービス、品質に対する妥協のない要求を満たしています。また、フレンチレストラン ラ・ダムや日本食レストランカイセキなど8つのレストランを備えています。



シルバーシー・クルーズについて

[シルバーシー・クルーズ](#)は、ウルトララグジュアリークルーズ業界の革新者として知られ、全室スイートのゆったりした船内で、大型客船と同等の設備をお客様へ提供しています。シルバー・ドーン、シルバー・シャドー、シルバー・ウィスパー、シルバー・スピリット、シルバー・ミュージズ、シルバー・ムーンの各船は、親しみやすさとカジュアル・エレガンスを兼ね備えたデザインとなっています。探検船のシルバー・エンデバー、シルバー・オリジン、シルバー・ウインド、シルバー・エクスプローラー、シルバー・クラウドを含めると、シルバーシーのクルーズ行程は7大陸すべてを網羅し、地中海、カリブ海、ガラパゴス諸島、両極地、その間にある数多くの魅力的な寄港地への世界的なラグジュアリークルーズを特徴としています。さらにシルバーシーでは、新たにノヴァクラスの豪華客船、シルバー・ノヴァとシルバー・レイ 2 隻の就航を予定しています。シルバーシー・クルーズは、5 つのクルーズブランドを所有するロイヤル・カリビアン・グループの一員です。

ロイヤル・カリビアン・グループについて

世界有数のクルーズ会社であるロイヤル・カリビアン・グループ(NYSE: RCL)は、世界中 1000 を超える都市に就航する 64 隻の客船を有しています。ロイヤル・カリビアン・グループは、受賞歴のあるクルーズブランド:ロイヤル・カリビアン・インターナショナル、セレブリティ・クルーズ、シルバーシー・クルーズを所有、運営し、TUI クルーズとハパグロイドクルーズを運営する合併事業の 50%を保有しています。2022 年 12 月 31 日時点、これらのブランド全体でさらに 10 隻の船を発注しています。詳しくは、www.royalcaribbeangroup.com または www.rclinvestor.com をご覧ください。

【発行元】シルバーシー・クルーズ日本支社